

## 第9回赤城山覚満淵ササ刈り作戦

主催：赤城山の自然保護活動推進協議会

後援：群馬県、前橋市

協力：NPO法人 あかぎくらぶ/ サンデンフォレスト、NPO法人 赤城げんき会議、NPO法人 赤城自然塾、  
NPO法人 群馬県自然保護連盟、NPO法人 ぐんま緑のインタープリター協会、NPO法人 フォレストぐんま21、赤城姫を愛する集まり、ぐんま森林インストラクター会、赤城山観光連盟、  
(財)サンデン環境みらい財団、赤城南麓森林組合、国立赤城青少年交流の家、  
前橋市赤城少年自然の家

参加者：延べ186名（11/5:35名、11/6:151名） 別紙参加者名簿参照

場所：赤城山覚満淵

日時：平成28年11月5日（土） 9:00～11:35

自動下刈り機による作業 参加者：35名

8:15 機材の配置

8:30 受付開始

9:00 会長挨拶 作業上の注意



9:15 班長の指示により下刈り作業開始、休憩は適宜



11:15 作業終了

11:25 会長挨拶、木道の補修に着手



11:28 集合写真撮影



11:35 終了、解散

刈り残しの手刈りと搬出作業 参加者151名 平成28年11月6日(日) 8:30~11:20



## 全体的スケジュール

- 8 : 0 0 駐車場係 2名配置 (市川、真庭)、班別集合場所決定 (2班~9班)、機材道具等の配置
- 8 : 1 0 役員スタッフビジターセンター集合、班別作業内容打ち合わせ、注意事項と作業図配布
- 8 : 1 5 受付準備 (VC 前、受付用参加者名簿、当日参加者名簿)、配布資料 (エリア図付き班別参加者名簿、時系列別スケジュール表、覚満淵通信、他)、お茶
- 8 : 2 0 受付開始 6名配置 (加藤孝生、清水岩夫、都丸礼子、柚実、歩実、金井実紀)



8 : 4 0 班別に集合整列 (第3スキー場)

8 : 4 5 オープニングセレモニー開始 司会挨拶

主催者挨拶 : 小暮 市郎 (赤城山の自然保護活動推進協議会長)

後援者挨拶 : 松下 克 氏 (群馬県自然環境課長)、関 孝雄 氏 (前橋市環境部長)

指導者紹介 : 2班 (六本木、青木誠二) 3班 (塩田、泉川) 4班 (青木、今泉、) 5班 (吉本、関) 6班 (吉田、酒井、市川) 7班 (阿倍曜、真庭、加藤) 8班 (梶原、佐藤良治) 9班本部 (小暮、春山、都丸、小林)

作業上の注意等 : 春山 明子 (群馬野生動物事務所)

アンケートの記入依頼



9 : 0 0 指導者の指示により作業エリアへ移動

9 : 1 5 指導者の指示により作業開始、1時間の作業を目安に休憩





11:00 作業終了、ビジターセンター駐車場へ移動・集合、機材道具の撤収

11:10 集合写真撮影

11:14 クロージングセレモニー



主催者御礼挨拶：小暮 市郎（赤城山の自然保護活動推進協議会長）

11:18 終了、解散

## 班長・スタッフのコメント

1班（11/5）、6班（11/6） 佐伯 一 上毛資源（株）社長

前年に引き続き前日に機械刈りを実施したため、当日の作業が細かい手刈りと袋詰めに集中出来て効率的だった。旧小学校への誘導と周知が遅れたためにビジターセンターの駐車場をかなり占有してしまった。

1班（11/5）坂庭 浩之 群馬県林業試験場

腐朽した木道は相当に危険であったため、自然環境課から提供された10本について交換作業を行いました。豊かな自然を観察するため、子供から老人まで安全に通行できる道を確保することも大切な取り組みです。

今回、試験的に交換作業を実施しましたが、1本の交換に2人で30分ほどかかることも分かりました。

今後とも、皆さんの御協力をいただきながら作業を進められればと思います。

2班班長 六本木 真弓 赤城自然塾

風が強く大変な天候でしたが、皆様の協力で無事に作業を終了できました。

2班は昨年より人員の配置が減りましたが（班員12名）、全員要領よく作業をして頂きました。

レンゲツツジの根元及び周囲のササ刈りをする人員と、ススキなどの長物を縄で丸めて搬出する人員

を分担して作業をすすめました。作業を終らせてから全員で更に刈り残しをチェックと見直しをした結果、2班の担当範囲はきれいに作業が終わることが出来ました。

また、2班は予定より早く作業が終わりましたので、その後3班の作業を支援いたしました。

3班班長 塩田政一 ぐんま森林インストラクター会々長

6日は、昨年の雨よりは良かったのですが、風が強く、寒い日でいいコンディションではありませんでした。そんな中で菱電商事(株)前橋の皆さんはよく頑張りました。

他の班に比して、運び出す距離が長く、大変でしたが、他の班の皆さんにも手伝っていただき、11時ようやく終了、綺麗になりました。

小生所属の森林インストラクター会の田中洋助前会長から、「ツツジの回りにツツジの萌芽が出ており、丁寧に笹を刈ろうとすると、これらも切ってしまうのでよろしくないのでは」という疑問符を付けられました。来年の課題です。

4班班長 青木 泰孝 赤城山観光連盟会長

5日(土)は赤城山観光連盟の有志でササと茅を刈りました。1段刈りということでスムーズに刈ることが出来ました。茅は思ったより長く伸びていました。

6日(日)は刈ったササと茅を搬出することでした。4班担当のボランティアの人達は最初に説明したようにササは袋に入れ、茅や長い草はヒモで縛り散策道に出しました。ツツジの廻りは鎌で刈り、昨年残した枯れ草も熊手でかき集め外に搬出しました。予定時間内で完了し、その後3班の搬出手伝いをして終了としました。ボランティアの皆様ご苦労様でした。

来年は花がたくさん咲くことと思います、有難うございました。

5班班長 吉本 一夫 ぐんま緑のインタープリター協会

5班のエリアは「ススキが大半で繁殖も激しく丈も長い」「ササは毎年刈っているのでも短い」といった場所。作業は前日の5日に刈って頂いたススキ、ササの運び出す内容だ。基本的にはススキはヒモで束ねて、ササは袋に詰めての歩道まで出す作業でした。今回は参加者も慣れており順調に進んだ。約1時間超えて終わることが出来た。終了後は6班の応援等、作業が終了した班と共に予定の時間が来るまで続けた。

\*5班としては特に問題がなく、進められたと思います。全体の人員配置は次回、事務局・役員で見直しが必要かと感じた。

6班班長 吉田 龍司 群馬県自然保護連盟理事長

気温3℃、強風の中での作業、参加スタッフの方々は良く頑張っておられました。前日の機械刈りの片付けは思いの外手間がかかり、搬出班の方々の協力で助けられました。それよりも段差ある作業道の搬出は距離が遠いので、さぞ難儀だったと思います。怪我もなく作業が終わりホッとしました。ありがとうございました。

ただ搬出道の散策路の周囲のススキが刈り払われなかった為、搬出に邪魔になったことが残念でした。作業方法を再度確認し次回につなげたいと痛感しました。

6班 11/5班長 酒井良征 (刈払い機作業) 赤城自然塾

担当エリアに移動後、簡単な注意事項および当日の段取りを説明し作業をスタートしました。

6班は7名のメンバー中5名が昨年同じ場所の経験者だったこともあり、要領よく、スピーディーに作業を終了することができました。

その後全員でエリア1に移り、周辺の笹刈りを手伝いました。今年は天候に恵まれ、気持ち良い汗をかいた作業となりました。メンバーの皆様、大変お疲れ様でした。

#### 6班 市川 真

強風が吹き荒れ、寒い中での作業となりましたが、参加された皆様の協力の下、スムーズに作業が出来たのではないかと思います。来年の観察会でどのような姿を見せるのかを楽しみに覚満淵へ足を運びたいと思います。

また、駐車場についてトレッキングにいらしている方が車駐車できないケースが数件ありました。一台ずつ車を停めて確認することは非効率的ですので、例えば事前のアナウンスで「車は分校の校庭を優先的に停めてください」など出来た方が効率的かと思えます。

#### 7班班長 安部曜 サンデン女子バレーボール部 監督

サンデン女子バレー部員全員参加で、自然を感じながら気持ちの良い作業が出来ました。

今回のササ刈りではササの運びだし作業を担当しましたが、前回よりも効率よく運搬作業が行えたように思えます。天候が良かった点もあり、作業をする方たちにも笑顔が見られる中でのササ刈り作戦であったと思います。ぜひ、来年も参加して、若い人たちに自然を感じられる機会を与えていきたいと思えます。

#### 8班班長 梶原 隆 赤城自然塾

今回は、前回の反省も含めて各班のササ持ち出しを班別に、リレー方式にしたところ、通路の渋滞が少なく、うまく行きました。春山さんから、最終置き場（パッカー車）の位置を確認してくださいとの事でした。

#### 9班 春山明子 群馬野生動物事務所

作業を2日間に別けて2年目の今年度は、皆さんが作業に慣れて手順がわかってきたこともあり、スムーズにそして安全に作業をすることができました。

今年も「刈り払い機は腰が痛い」「ススキは重たくないけど持ちづらかった」「ササを袋に入れる時に、手袋に葉っぱが刺さってチクチクした」という「作業がたいへんだった」という意見も聞かれましたが、それでも毎年参加してくださる方や、さらにはご家族も誘って参加してくださる皆さんの温かい気持ちに感謝の心でいっぱいです。

また、私が袋詰めを手伝った班は、班長をサポートし、参加者に的確に指示を出す副班長の姿も拝見することができ、年に1度の作業とは言えチームワークの良さを感じることができました。さらに、後援の前橋市からは、休日にも係らずゴミ収集車を4台も出していただくだけにとどまらず、職員の方にも積極的にたいへんな作業にご協力いただいたことは、植生の保全作業にご理解を頂いている証拠かと思うと励みになります。

このような植生を保全するためのササの刈り取りは、中之条町の野反湖でもおこなわれています。そこで作業をされている方と以前お話しした時に「赤城山の作業には多くのボランティアが来てくれることが羨ましい。私は一人で作業をすることもあるよ」と言われました。まさに、多くの皆さんが参加してくださることが、この会の一番の長所であり財産だと思えます。翌年、覚満淵に咲く様々な花々を思

い浮かべ、今後も皆さんにご協力を頂けたらと思いました。

9班 小暮 市郎 赤城山の自然保護活動推進協議会長

今年の覚満淵ササ刈り作戦が無事終了でき、昨年のような悪天候に遭遇しなかったことは幸いでした、予想していたよりも早く終了できたのは第1回依頼参加して作業内容を承知している人が増加したことと、自動草刈機の作業日と運び出し日を別けたことにもよるでしょう。

経験が改善につながっている証拠ともいえると思いました。

今回までの作業時期、方法でよいかどうかは未確定です。刈り跡の植物分布に与える影響を追跡調査し続けながら考えていきたいので、ご意見がありましたら事務局までお聞かせください。

それにつけても、小林事務局長を中心にスタッフの方々の協力体制、きめ細かい配慮にはいつも感謝しております。

事務局 小林 善紀 赤城自然塾

実施に当たり、今年も皆様の多大なご協力により無事終了することが出来ました。

有難うございました。今年は天候にも恵まれ、気持ちの良い作業ができました。

おかげさまで、タイムスケジュールを短縮して実施出来、問題の発生もなく、感謝の気持ちで一杯です。自然との付き合いは息の長いことになります。是非来年も宜しくご協力をお願い致します。

最後になって恐縮ですが、前橋市環境部にはパッカー車を4台手配頂き、スムーズな処理が出来ました。有難うございました、報告させていただきます。

2016年(平成28年)11月7日(月曜日)

新 毛 上

### 植生復元へ ササ刈り

赤城・覚満淵  
ニッコウキスゲなどの  
植生復元のため、赤  
取組む団体によって

城山自然保護活動推進協議会(小暮市郎代表)は5、6の両日、前橋市富士見町赤城山の覚満淵周辺で、ミヤコザサの刈り取り作業を行った。

「ササ刈り作戦」と銘打ち、会員や市民、地元企業の有志ら約160人が参加した。群生したササが他の植物への日光を遮り、生育を阻害する要因になることから、機械や手作業で取り除いた。

同協議会は、県内の自然保護や観光振興に取り組む団体によって

2011年に設立。ニッコウキスゲやレンゲツツジなどを保護するため、ササ刈りを毎年実施している。

参加した会員で、県自然保護連盟の吉田龍司理事長は「協力して作業することで、地元の良さを理解し、より大切にしようと思うきっかけにしてほしい」と話した。



ササ刈り作業に汗を流す参加者